

自立活動

身体の動き（1）姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること

所属

小学部1年

ねらい

- 指先でつまむ動作の練習をする。
- 手元に集中する練習をする。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など）

【教材紹介】

- 木の球 10 個
（100均のものを使用しました。）
- 木の球がちょうど入る大きさ、
深さの土台



【使い方】
指先で球を掴んで取り出す。



【児童の共通の実態】
指先の力が弱く、ランドセルの金具の開け閉めや、かかとを入れて靴を履くことが難しい。手元に集中することが難しい。

【効果】
球が滑りやすいので、指先の力を使わないと取り出すことができない。何度も繰り返すことで、自然と指先の力や使い方が身に付き、つまむ動作ができるようになる！

ひとこと！

プットインの教材は見かけますが、プットアウトの教材はあまり見かけなかったのでご紹介します。内容が単純でわかりやすいので、様々な実態のお子さんにもできる内容だと思います！子どもたちは、自分で取り出した木のボールが転がる様子を興味深く見ています。😊

自立活動

環境の把握 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること
(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と
状況に応じた行動に関すること
身体の動き (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること

所属

小学部2年

ねらい

・手元をよく見ながら、手先や手のひら全体、両手を使って、物をつまんだりつかんだりねじったり開けたりすることができる。

(どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など)

【自立活動の時間の指導で実践】



容器の蓋開け

手を開かないと持てない大きさの物、左手で支えて右手の手のひら全体に力を入れないと開かない物を準備し、物を移したり、ねじって開けたりする作業の課題を設定する。

開けたいと子どもたちが
思えるように容器の中には、
大好きなスーパーボール
を入れています。



手動シュレッダー

手動のシュレッダーで、あえて左手で押さえておかないと、蓋が外れたり、右手のレバーが回りにくかったりするものを準備し、両手を使い、押える、回す作業を設定する。

ひとこと！

児童がやってみたい、自分でもできるかなあという、意欲をくすぐるものを設定すること！　そこで決まる！

自立活動

人間関係の形成 (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること
コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること
(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること

所属
小学部3年

ねらい

- ・身近な教師や友達に挨拶をする。
- ・コミュニケーションカードを用いて、自分の要求を言葉で伝える。

(どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など)

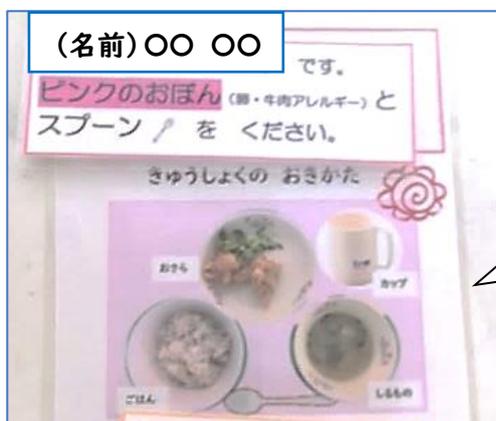


教室の入口に、「おはようございます」のイラストカードを貼っています。登校時、挨拶をして入室しています。



挨拶の練習～個別の学習の中で～

- ①先生や友達の顔写真を用いて、名前を言う練習をしています。
- ②イラストカードの顔の上に友達の顔写真を置き、「〇〇さんおはよう」と言う練習をしています。
- ③実際に、友達に「〇〇さんおはよう」と言いに行っています。



【給食配膳カード】

食物アレルギーがある児童（指定のお盆を使用）なので、自分の名前を言って、「お盆とスプーンをください」と係りの先生に伝え、カードを渡しています。

ひとつこと！

発語の少ない児童も、入口のイラストカードを指差して挨拶をしようとするようになりました。友達同士の挨拶は、（教師が介入しながら行っていますが）お互いに笑顔が見られています。

<p>自立活動 環境の把握 (1) 保有する感覚の活用に関すること (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること 身体の動き (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること</p>	<p>所属 小学部 3 年</p>
--	------------------------

ねらい

- 簡単な動きの模倣を通して、
相手を注視すること、身体の各部位を意識して動かすこと、姿勢を意識してバランスをとることを目指す。

(どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など)

【児童の実態、ねらう効果】

- 姿勢が崩れやすい
→ 体幹を鍛えたり、足を踏ん張ったりする
- 模倣が苦手
→ 相手の動きに注目して、大きな動きを真似る
- 動きが多い
→ 身体をゆったり伸ばす



【手立て】

- 5つのポーズを 10カウント、2回ずつ行う。
- 手本は教師がする。
- 身体を伸ばす動き、体幹を鍛える動き、柔軟を取り入れる。



ひとつこと!

- 繰り返すことで、動きの模倣ができるようになってきた。
- 以前より片足で立ったり、片手で体を支えたりできる時間が長くなった。

自立活動 人間関係の形成 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること コミュニケーション (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること	所属 小学部4年
---	--------------------

ねらい

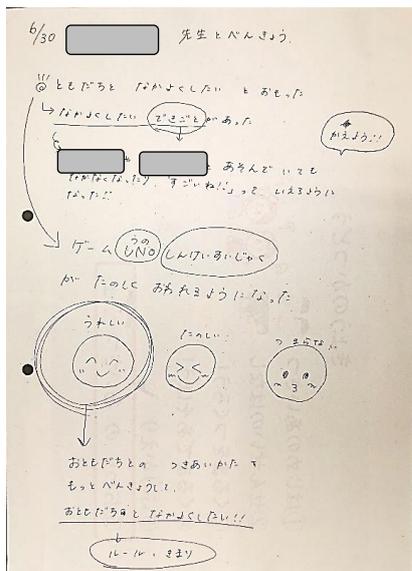
- ・自分や相手の言動を振り返り、自分の気持ちを理解したり、その状況に応じた関わりを教師と一緒に考えたりする。

(どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など)

【児童の実態】

友達と仲良くしたい気持ちはあるが、自分の気持ちの表出がうまくできず、友達と遊んでいるときに泣いてしまったり、不適切な発言をしてしまったりすることがある。

【自分の気持ちの振り返りの時間】



- ・教師と会話をするなかで、本人の気持ちを聞き取り、教師が文字にする。
- ・本人が言葉にするのが難しい時には、教師が選択肢を考え、本人が一番近いと思った気持ちを選んでもらう。
- ・必ず、「どんな気持ちになったのか」「どんな気持ちだったのか」を3つくらいの表情のイラストから児童が選ぶようにしている。教師が描いたイラストに該当するものがなかった場合は、絵を描くのが得意なので、本人に描いてもらうようにしている。

ひとこと！

気持ちのフィードバックをすることで、児童に「友達と仲良くするためにはどうしたらいいだろう？」という気持ちが芽生え、自分から友達に対して、優しい言葉かけを心がけてくれるようになりました！

自立活動 人間関係の形成（４）集団への参加の基礎に関すること 身体の動き （１）姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること	所属 小学部５年
--	-------------

ねらい

- ・体の部位を意識して姿勢を保持する
- ・「順番」「指示に従う」などの活動上の約束を守る
- ・「自分でする」「先生に手伝ってもらおう」を自分で決めて伝える
- ・楽しさを周囲と一緒に味わい、集団でも安心して活動できる

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など）

【バランスゲーム（ツイスターゲームのような活動）】

（場面）自立活動の時間にクラス全員で取り組んでいる。1人1人の目標を達成できる活動として設定した。

（実態）教師の動きを模倣したとき体が伸びず、小さい動きになる／集団になると不安が強く、教師の指示が通らない／適切に支援を求められず自傷や他害をする／クラス内で子供同士の自発的な関わり合いが少ない

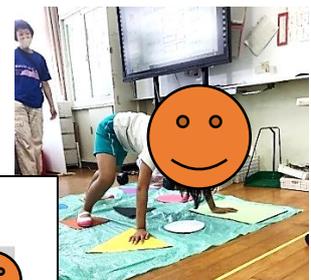
（進め方）

- ① 1人ずつ呼名する。
- ② 児童は、自分だけですか教師と一緒にいくかをコミュニケーションカードで選ぶ。
- ③ 教師が「右手を黒の丸に置きましょう」と色と形の指示を出す。必要な児童には指示した後に隣で教師が動きの見本を見せて模倣させる。

以上の流れで進めた。安心して取り組めるように、手足を置く場所は個人の実態に合わせて教師が意図的に設定した。また、手足を置くマットは、同じ色と形の組み合わせがないように準備した。

繰り返し取り組むことで安心して積極的に活動できるようになった。また、コミュニケーションカードがあることで支援を求められない児童も教師に協力を依頼できた。

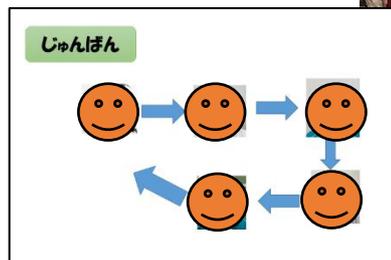
さらに、活動に慣れてきた段階で、指示カードを準備した。子どもたち同士で指示を出し合い、仲良く関わり合うことができた。



<指示カード>

ばらんすげーむ ★					
みぎては	<table border="1"> <tr><td>いろ</td><td>かたち</td></tr> <tr><td>ちやいろ</td><td>しかく</td></tr> </table> にのせます。	いろ	かたち	ちやいろ	しかく
いろ	かたち				
ちやいろ	しかく				
ひだりては	<table border="1"> <tr><td>いろ</td><td>かたち</td></tr> <tr><td>まいろ</td><td>しかく</td></tr> </table> にのせます。	いろ	かたち	まいろ	しかく
いろ	かたち				
まいろ	しかく				
みぎあしは	<table border="1"> <tr><td>いろ</td><td>かたち</td></tr> <tr><td>あお</td><td>まる</td></tr> </table> にのせます。	いろ	かたち	あお	まる
いろ	かたち				
あお	まる				
ひだりあしは	<table border="1"> <tr><td>いろ</td><td>かたち</td></tr> <tr><td>あお</td><td>まる</td></tr> </table> にのせます。	いろ	かたち	あお	まる
いろ	かたち				
あお	まる				

↑挑戦する難易度を★で表したカードを選ばせている



↑最初は先生が指示していたが、活動に慣れたことで児童が次の児童にしてほしいカードを選んで指示するようになった。次の児童は選ばれたカードに嫌がることなく挑戦し、仲良く取り組んでいる。

ひとつ！

集団ですることの良し悪しがあるので、最初の計画と日々の修正が大事ななと感じています。

<p>自立活動 心理的な安定（1）情緒の安定に関すること コミュニケーション（5）状況に応じたコミュニケーションに関すること</p>	<p>所属 小学部 6 年</p>
--	--------------------------------

ねらい

・授業中に不穏になる児童に対して、適切なカームダウンの方法を視覚的に示し、落ち着いて学習に取り組めるようにする。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など）

<使い方>

・授業中など不穏になったときにカードを教師に渡し、カームダウンスペースで落ち着く。

タイマーが鳴ったら戻り、教師に報告する。

⇒自立活動の時間に約束や手順を決め、一連の流れを行い、カームダウンの練習を行った。



<実態>

授業中に苦手な活動があったり気持ちが逸れたりすると、外に飛び出そうとし、教師から止められることでさらに不穏になる。

<効果>

教室からいったん出ることを認めてもらうことで、気持ちが落ち着き、教室に戻ると活動を再開できた。「活動を最後まで頑張ると、決まった時間に好きな虫取りができる」という約束も合わせて行うことで、見通しをもち授業に参加しようとしていた。

<配慮点>

周囲の教師にも周知し、見守ってもらうようにした。不穏の原因を探り、活動量の調整や教材の工夫も同時に行った。

ひとこと！

これがあれば落ち着く、という方法を児童自身が分かっているのので、イライラする前に伝えることができるようになりました。

自立活動（人間関係の育成）

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること
- (4) 集団への参加の基礎に関すること。

自立活動（コミュニケーション）

- (2) 言語の受容と表出に関すること

所属

中学部 2年

ねらい 「友だちづくりのスキル」

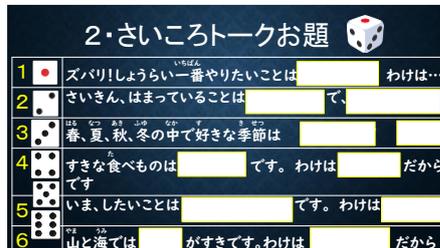
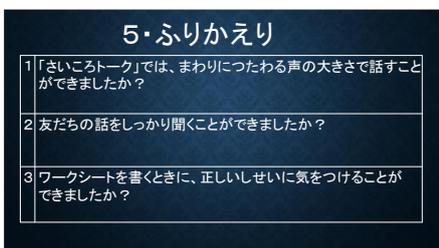
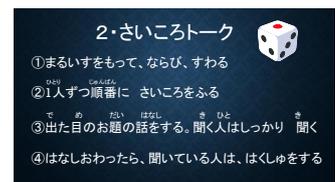
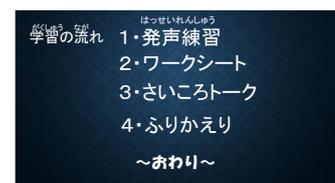
- ・友だちに自分のことを分かりやすく話したり、聞きとったりしていろいろな友だちと交流する。
- ・ロールプレイングすることで、相手に伝わりやすい話し方を知る。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など）

○友だちづくりのスキルをテーマに「気持ちのいいあいさつをしよう」では、基本の1日のあいさつを、相手に伝わるようにロールプレイを入れて行った。明るい生徒たちだが、特定の生徒と関わることが多く、友だちの幅を広げて互いに困っているときに、手を差し伸べたり協力したりしてほしいと思った。

○さらに、関係が深まる自己紹介の発展として、「さいころトーク」を行った。

右のようにさいころの6項目でワークシートに答えと理由を書いておき、順番に大きいさいころを転がし、みんなに発表していった。



ひとこと！

・さいころトークの6項目の質問は「山と海どちらが好きか」など、答えやすい生徒の嗜好や日常生活で設定して、なぜ好きなのか質問したりする活動に発展させたらよいと思った。

<p>自立活動（環境の把握） (1) 保有する感覚の活用に関すること 自立活動（身体の動き） (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること</p>	<p>所属 中学部 3年</p>
--	-------------------------------

ねらい

- ・姿勢や歩行の安定
- ・大腿や姿勢保持に関わる筋肉群を使い、鍛える。
- ・前傾姿勢を保持したり、両手でバランスを保って物を支持したりする。

(どんな場面で、児童生徒の実態、
 ねらえる効果 配慮点など)

- 一定時間以上の姿勢保持に課題を持っている。また、歩行についても転倒しやすく不安定で、常時支援者が横についている。
- ワークシステムを理解して、自分から国数(ワーク)の課題を取ってくることができる。
- 自ら課題を取ってくることを活かして、ワークの設置場所を低い場所にして、腰の上下運動・膝の屈伸運動(スクワット)を行う状況を作っている。
- 毎日、国数(ワーク)の課題に取り組む時間を設定し、毎日、狙った運動を行う時間を確保している。
- 両手でしっかり持たないとワークが落ちるお盆を用意し、それを運ぶようにしている(バランス感覚)。



ひとつこと!

毎日行う行動に仕組むことで、継続的な積み重ねができます。

<p>自立活動(健康の保持)</p> <p>(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること</p>	<p>所属</p> <p>高等部1年</p>
<p>ねらい</p> <p>ブラックライトや手洗いチェッカーを使い、手洗いの大切さを視覚的に理解し、正しい手洗いの方法を身につけること。</p>	
<p>(どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など)</p> <p>どんな場面(活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手洗いチェッカーで手に見えない汚れをつけ、せっけんで手を洗う。 ・ ブラックライトを当てて、洗い残しがあるかどうかを確認する。 ・ 自分の洗い方をふり返り、次の手洗いに生かす。 <p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉でやり取りでき、2～3語で要求を伝えられる。 ・ おしゃべり好きで授業中も話しかけることが多い。 ・ 数字が好きで、ひらがな・カタカナは簡単な読みが可能。 ・ 注意が散漫になりやすく、衝動的に動くことがある。 ・ 衣服の前後を間違えたり、他人の服を着てしまうことがある。 ・ 終わりの程度の判断が難しく手洗い・歯磨きは教師の仕上げが必要。 <p>ねらえる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の手洗いの結果を目で見て確認できる。 ・ 正しい手の洗い方を少しずつ覚え、衛生習慣が身につく。 ・ 興味のある「数字」や「光」を使うことで学習意欲が高まる。 ・ 教師の援助を受けながらも、自分で考えて行動する力が育つ。 <p>配慮点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ てんかん発作につながらないよう、光の当て方や時間に留意する。 ・ 短い言葉と絵カードを使い、分かりやすく指示する。 ・ 活動を短く区切り、見通しを持てるようにする。 ・ 洗い残しは必ず教師が確認・仕上げを行う。 	
<p>ひとつ!</p> <p>「自分でできた!」という経験を大切にしながら、日々の生活の中で自立へつながる支援を行っています。視覚的に分かる体験を通して、衛生行動への意識が高まりました。今後も、生活の中で繰り返し練習し、習慣化につなげていきたいです</p>	



自立活動（身体の動き） （1）姿勢と運動・動作の基本技能に関すること	所属 高等部 1年
---	----------------------------

ねらい

- ・ 目的に合わせて自分の身体をコントロールする力を高める。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など）

○ **じゃんけんゲーム**

1分間、ルールやお題を決めてじゃんけんをする。



※クラス全体で行うが、支援が必要な生徒には、個別に対応し、生徒のペースで取り組む。

○ **体幹チャレンジ**

イラストのポーズをみんなで10秒キープ。



※各生徒に合わせて、できる範囲（上半身だけ、下半身だけ、5秒キープ）で取り組む。

《 **配慮点** 》

- ・ 思わず身体を動かしたくなるような、興味を引く教材を準備する。
- ・ 挑戦しようとする意欲や頑張りを褒め、自己肯定感を高める。
- ・ 転倒や怪我がないように、環境整備や補助を十分に行う。

ひとつこと！

どの生徒も参加でき、生徒の「やりたい！」を引き出し、「できた！」につなげる支援を。

自立活動 (人間関係の形成) (4) 集団への参加の基礎に関すること (コミュニケーション) (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること	所属 高等部 1年
---	----------------------------

ねらい

- ・教師の説明を聞きルールを理解し、グループ別に「マシュマロゲーム」に挑戦する。
- ・一人一人が違う意見をもっていること、自分の意見が常に正しいとは限らないことにゲームのルールを通して気付き、集団の中で他者と協力してマシュマロタワーを完成する。

(どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など)

○マシュマロゲームとは…マシュマロに乾麺を刺していきタワーを作り、タワーの頂点にはマシュマロを必ず乗せるゲーム。これを2グループに分かれ、どちらがより高い自立可能なタワーを作ることができるか戦略を話し合い、意見交換することを目的にしたチームビルディングゲーム。

- ①自由な雰囲気発言できるように、クイズ形式で、「物事に対する見方や考え方は一人一人違っている」という例を提示する。 例:錯覚画像やトリックアートなど
- ②ゲームの説明をして、グループに分け、時間を決めて、ゲームをする。
 ※グルーピングが大切。各生徒の性格を把握し、特に「男女比」、「自己主張が強い生徒」「緘黙がある生徒」「なかなか意見を言えない生徒」の配置には配慮する。意見を出すことを促してくれるような生徒と一緒にするのがコツ。
- ③途中経過を教師がアナウンスし、各グループの取り組みを促す。
- ④時間が来たら、各グループの完成具合を確認し、感想や意見を出し合う。

生徒に提示する教材の一部↓

確認 

- ・食べ物で遊んではいませんが、今回みんなでやってみようという題材がありましたので、この授業でのみやってみようと思います。
- ・競争ではありません。考えを伝えたり、受け入れたりして課題を解決することが目的です。
- ・相手に伝えるときは「ぼかぼか言葉」を使います。チクチク言葉は禁止です。(ジェスチャー、筆談でもOK)
- ・相手の考えは聞きます。否定はしない。



ルール 

クラスで2つのチームに分けてください

- ・各グループに、スパゲッティ麺20本 テープ、紐、マシュマロ1個を用意します。
- ・制限時間15分～20分 ※クラスで様子を見て切り上げてください
- ・スパゲッティ麺やテープ、紐は切ったり折ったりして使用していいです。
- ・スパゲッティ麺を机に固定するのは禁止です。
- ・マシュマロは一番上に乗せてください。



ひとこと!

最初は意見がばらばらでまとまらず活動も停滞したが、他のグループの進捗状況などを見ながら、試行錯誤をする姿が見られた。意見を出し合って試行錯誤する過程が大切なので、完成させることだけを目標にしないように教師の言葉掛けや励ましが必要です。

<p>自立活動 (環境の把握) (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握 に関すること (コミュニケーション) (2) 言語の受容と表出に関すること (5) 状況に応じたコミュニケーションに 関すること</p>	<p>所属 高等部2年</p>
--	-----------------------------

ねらい

- ・色や位置を思い出しながら塗ることで、記憶を整理する力を育てる。
- ・色を塗る過程を友達と共有することで、コミュニケーション力を高める。

(どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など)

【生徒の実態】

- ・パンダや信号機の色が思い出せずに固まってしまう生徒がいる。
- ・色の選択で迷い、自信を持たずに消極的になる児童がいる。

【支援内容】

- ・ぬりえの題材(パンダや信号機など)を提示し、「どんな色だったかな?」と声かけを行う。
- ・必要に応じてヒント(「学校の近くの信号はどうだったかな?上から順番に何色?」など)を与える。
- ・友達同士で「ここは青じゃない?」「赤だったよね」と話し合えるように促す。

【ねらえる効果】

- ・ヒントをもらうことで「自分で考えて言葉にできた」という自信を身に付けられる。
- ・発言しやすい雰囲気の中で、主体的に参加ができる。

【配慮点】

- ・なるべく生徒たちで話し合いができるよう、教員の声掛けは最低限にし、ヒントを与えて、みんなで考えるよう促す。



ひとつこと!

生徒同士、話し合い確認し合って、楽しみながら取り組んでいました。

自立活動（健康の保持） （1）生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。	所属 高等部2年 職業コース
---	---

ねらい

・不規則な生活やストレスの多い日常を送りがちな生徒は、心や体へ何らかの影響が出やすい傾向にあるため、自分の生活や体調を知って対処できるようになり、卒業後の生活において心身の健康を維持、増進しながら周囲の人とより良い関係を保ち、就労の継続を目指す。

（どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など）

- ・自分自身で気付かないうちに疲れていたり困っていたりするなど、不調や不快の原因がどこにあるかを探り、自分の今の状態に気付いて解決策を一緒に考えることができるように毎日朝登校後チェックシートに記入する。
- ・チェックシートをもとに毎日個別に話を聞いて振り返り、生活習慣を整える方法を一緒に考えたりシートに記載された内容を基に対話のきっかけを作ったりして、このやり取りを通して、自然に自分の考えや思いを伝えられるようにする。
- ・時間や熱中症対策については自分の生活を振り返り、自分で設定する。
- ・〇ばかりではなく、ありのままの日常を書くことが大切なことを個別に伝える。

暑さに負けるな！健康チェック〔○・△・×〕シート

日付	／	／	／	／	／	日付	／	／	／	／	／
曜日	月	火	水	木	金	曜日	月	火	水	木	金
昨日帰宅後の生活						昨日の帰宅後の生活					
夕食をしっかり食べた						夕食をしっかり食べた					
入浴した						入浴した					
寝る時間(:)						寝る時間(:)					
スマホ、ゲームの時間(:)以内						スマホ、ゲームの時間(:)以内					
今日の体調						今日の体調					
体温(平熱 ℃)						体温(平熱 ℃)					
しっかり睡眠がとれた						しっかり睡眠がとれた					
朝ごはんをしっかり食べた						朝ごはんをしっかり食べた					
熱中症対策できた()						熱中症対策できた()					
元気だ!						元気だ!					
〔元気がない人のみ解答〕						〔元気がない人のみ解答〕					
体がだるい						体がだるい					
のどが痛い						のどが痛い					
鼻水が出る						鼻水が出る					
頭痛がある						頭痛がある					
お腹の調子がわるい						お腹の調子がわるい					
心の元気がない						心の元気がない					

ひとこと!

生活習慣と体調が密接に関係していることや、心の健康にも影響することに気づくことができました。

自立活動（コミュニケーション）
(2) 言語の受容と表出に関すること。

所属
 高等部3年

ねらい

自分で目標を立てることで、意欲的に自分の課題の克服に取り組めるようになる。

(どんな場面で、児童生徒の実態、ねらえる効果 配慮点など)

<セルフチェックシート>

個に応じた支援のための自立活動チェックシート(知的・情緒)

項目	自立活動(知的)	自立活動(情緒)
1	自分の気持ちや考えを相手に伝えることができる。	相手の気持ちや考えを理解することができる。
2	自分の気持ちを相手に伝えることができる。	相手の気持ちを理解することができる。
3	自分の気持ちを相手に伝えることができる。	相手の気持ちを理解することができる。
4	自分の気持ちを相手に伝えることができる。	相手の気持ちを理解することができる。

【生徒の実態】とっさに声が出ないことがある。自分の気持ちをうまく伝えられず、緊張により一人で固まってしまうことがある。

・自分の課題を見つけるために、チェックシートを用いて、セルフチェックを行った結果、自分の課題が、コミュニケーション(自分の気持ちを伝える)であることに気づいた。最初はメモを用いて伝えたいことを伝えるようにした。筆記用具をすぐに取り出せるように、本人が常に携帯しておく。

<目標決めワークシート>

今日と次回のめあて

自分のことを知って、課題を決めよう

1 自立活動チェックシートで、自己分析しよう!

2 得意な分野に◎、苦手な分野に△をつけよう

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
◎	△	◎	◎	◎	△

3 チェックシートから わかったこと 気づいたこと

心理的な安定が△
 身体の動きなど◎

4 1年生の時の自立活動の目標

新しい学校生活に慣れ、みんなの中で活動でき、話しができる場面をふやす。

2年生の時の自立活動の目標

自分の気持ちを先生や友だちに伝える。

5 3年生で 取り組みたいこと、できるようになりたいこと

自分の気持ちを相手に伝える。

・声がとっさに出ないときは、相手の肩や背中を指先で軽くつつく(生徒とのやり取りではつつんのため以下はつつん表記)ようにした。また、練習で何人かの教師の背中をつつんしてみた。つつんしたら、みんな振り向いたのでうれしかったようである。

・つつんすることで、相手が振り向いて自分の方を見るので、自信がついてきた。

・自分の伝えたいことを書いた手紙を渡すことができてきた。

・このことを繰り返すうちに、小さな声で要望を伝える場面が増えてきた。

【成果】自分を見つめ直すセルフチェックシートを用いて、自分の課題を見つけ、目標を立てた。今回該当生徒は、「緊張などにより固まってしまっ、声が出せない場面でも自分の気持ちを伝えることができるようになる」という目標に取り組むことができた。

<本人の立てた目標>

自分の気持ちを相手に伝える。

ひとこと!

いろいろな場面で手紙を渡すことができ、自信が出た。少しずつ声が出るようになってきて本人の自信につながっている。

